

あぜみち

学校と家庭と地域を結ぶ確かな道を目指し！

【R5 学校経営の重点】
「チーム西小で未来輝く西小っ子に最善の学びを！」

【キャッチフレーズ（児童）】
★自分からやるべきことに取り組もう！

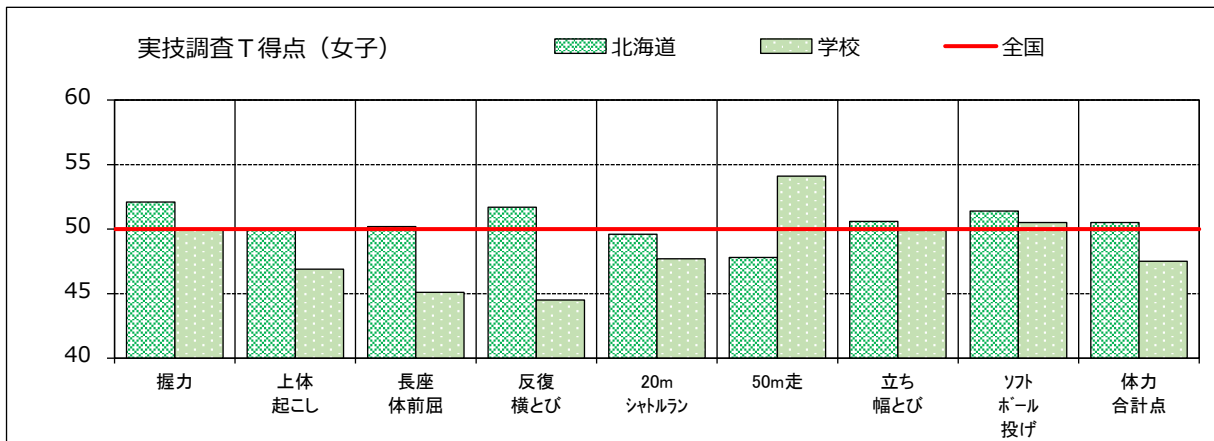
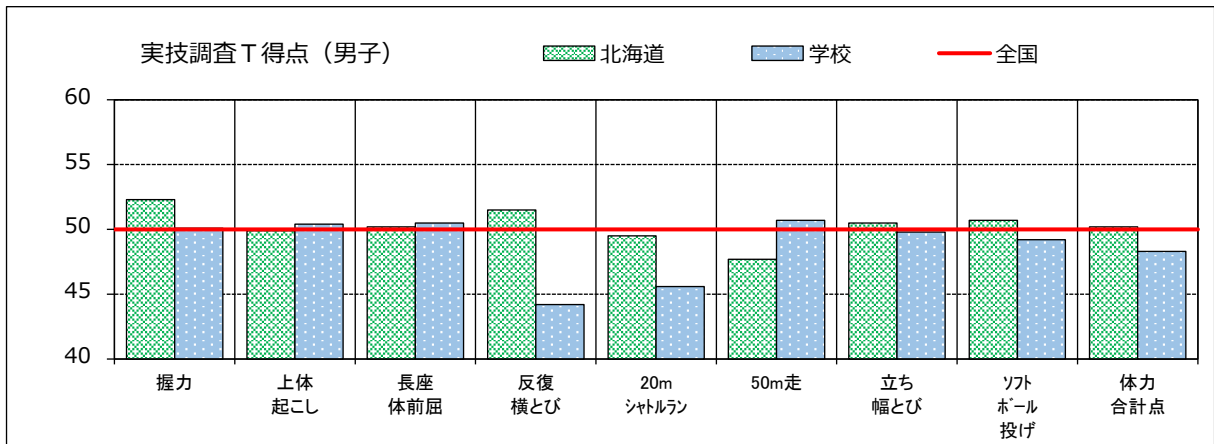
令和6年3月21日 校長 渡辺 教浩
第831号 (No.26)

令和5年度全国体力・運動習慣等調査の概要

全国体力・運動能力、運動習慣等調査は、「各学校が児童の体力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体力・健康に関する指導などの改善に役立てる」ことを目的に、平成20年度より小学校第5学年を対象に行われています。

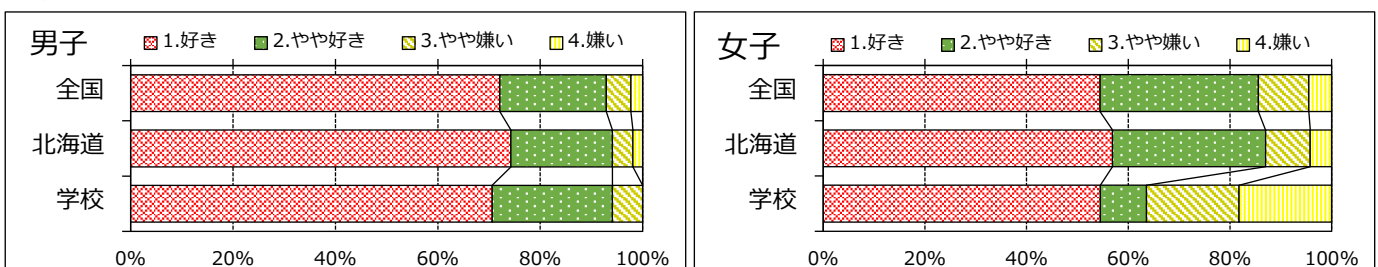
調査の内容は、①実技に関する調査（握力・上体起こし・長座体前屈・反復横とび・20m シャトルラン・50m走・立ち幅とび・ソフトボール投げ）と②運動や生活習慣に関する質問紙調査です。

結果の概要をお知らせします。

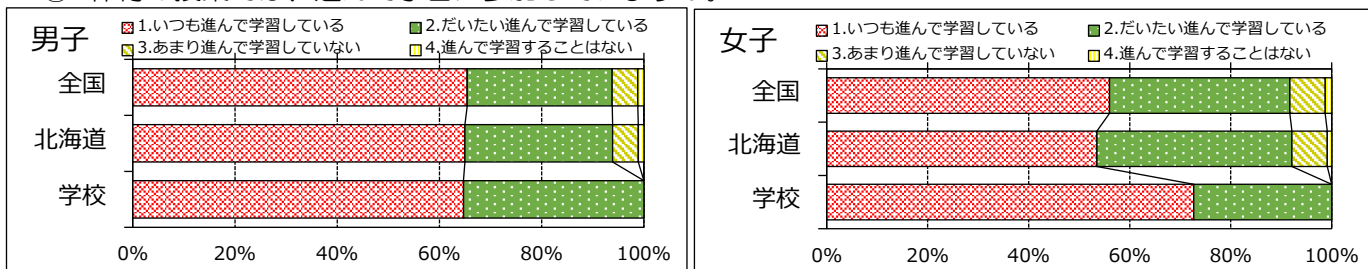


＜児童質問紙より＞

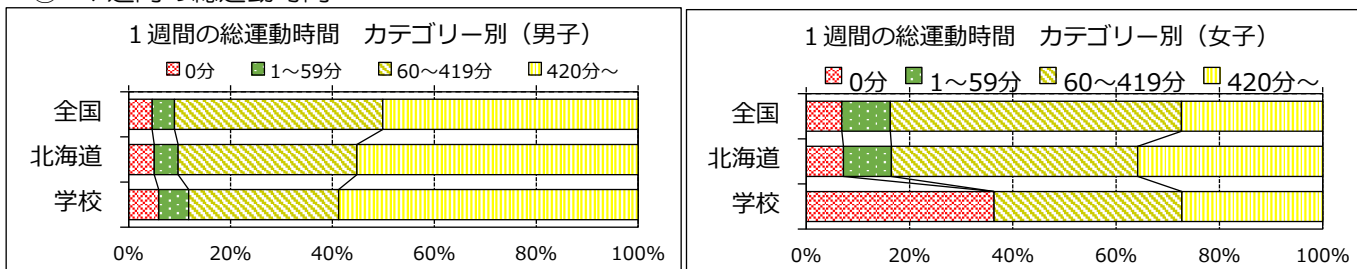
① 運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好きですか。



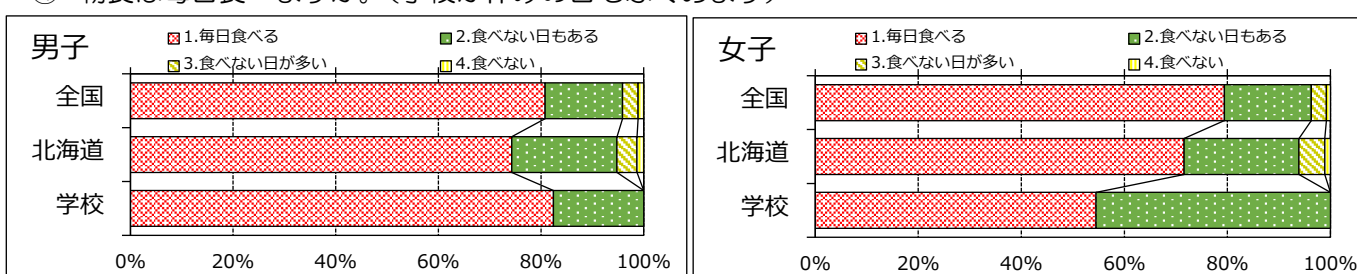
② 体育の授業では、進んで学習に参加していますか。



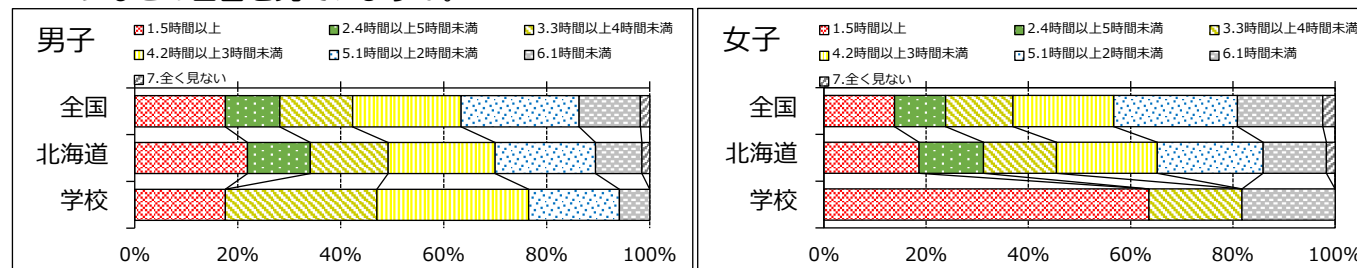
③ 1週間の総運動時間



④ 朝食は毎日食べますか。(学校が休みの日もふくめます)



⑤ 平日、学習以外で、1日にどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ていますか。



男女ともに、体力合計点が全国・全道平均を下回りました。男女ともに、【50m走(スピード)】の値は全国平均を上回りましたが、男女ともに【反復横とび(敏捷性)】・【20mシャトルラン(全身持久力)】、女子では【上体起こし(筋力・筋持久力)】・【長座体前屈(柔軟性)】が全国・全道平均を下回り課題が見られました。

質問紙からは「体育の授業に進んで参加している」と回答した児童の割合が全国・全道平均よりも高く、意欲的に体育の学習に取り組んでいる児童が多いことがわかりました。1週間の運動時間が「1時間未満」と回答する児童の割合が全国・全道平均の割合を上回ることから、日常的な運動の機会を増やしていくことが必要であると考えます。また、「朝食を食べない・食べない日が多い」と回答した児童の割合は0%となっており、朝食を食べることが習慣化されている児童が多い状況です。しかし、平日にテレビやゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ていた時間が「3時間以上」と回答した児童の割合が、全国・全道平均の割合を上回るなど、1日の過ごし方を見直していくことも必要であると考えます。

これらの結果から、西小学校として、次のような取組を考えています。

- 授業の導入で基礎体力向上のための取組を行うなど、体育の授業改善に全校で取り組みます。
- 動画等の視聴時間等や一日の過ごし方を見直すことができるよう、各教科で指導するとともに、家庭と連携して取り組みます。